

## 第2回 茨城町自転車活用推進協議会 議事概要

1 日 時 令和3年3月26日（金） 午後1時30分から午後3時

2 場 所 茨城町庁舎 2階大会議室

3 出席者

### (1) 委員

No	所属名	役職名	氏名	備考
1	茨城大学人文社会科学部 現代社会学科	准教授	小原 規 宏	
2	茨城県土木部道路維持課	道路保全強化 推進室長補佐	佐久間 洋	代理
3	茨城県水戸土木事務所	次長兼道路 整備第一課長	根田 信義	
4	茨城県水戸警察署	警部補	島根 崇	代理
5	茨城町生活改善クラブ連合会	会長	照山 友子	
6	茨城町観光協会	副会長	水野 剛治	
7	茨城町交通安全母の会	会長	山口 美知子	
8	茨城町商工会青年部	部長	大須賀 真寛	
9	茨城シクロクロス城里事務局	代表	田辺 隆文	
10	茨城町	副町長	小林 弘文	

### (2) 事務局

No	所属名	役職名	氏名	備考
1	町長公室	町長公室長	横田 修一	
2	町長公室地域政策課	課長	田口 眞一	
3	〃	課長補佐	海老澤 靖範	
4	〃	係長	福井 直子	
5	〃	主事	櫻井 輔	
6	都市建設部	部長	安正 弘	
6	〃	課長	東ヶ崎 馨	
6	〃	課長補佐	久保田 隆弘	
6	〃	課長補佐	木村 隆宏	

## 4 配布資料

- 第2回茨城町自転車活用推進協議会次第
- 茨城町自転車活用推進協議会委員名簿
- 【資料】 茨城町自転車活用推進計画（素案）
- リーフレット「自転車保険入っていますか？」

## 5 内容

### 1 開 会

【事務局】

町長公室 地域政策課 課長の田口でございます。

ただ今より第2回茨城町自転車活用推進協議会を開会いたします。

それでは、「2 会長挨拶」、小原会長お願いいたします。

### 2 会長あいさつ

茨城大学の小原です。前回、大きく分けて生活面と観光面の様々なご意見を出していただき、ご協力ありがとうございました。今回議題の計画素案につきまして、かなりボリュームがありますけれども、しっかりと前回の皆さんのご意見を踏まえて、作っていただいたと思います。本日は、この素案の内容について、協議したいと思います。どうぞ、よろしくをお願いいたします。

### 3 議事

【会長】

それでは、早速議事に入りたいと思います。議事(1)「茨城町自転車活用推進計画(素案)について」、事務局より説明をお願いいたします。

#### (1) 茨城町自転車活用推進計画（素案）について【事務局より説明】

【会長】

それでは、ご説明いただいた素案全体に関して、皆様それぞれ各分野の専門の方がいらっしゃると思いますので、素案34ページの施策の体系を見ていただいて、前回の協議を踏まえ、生活面の「基本目標1. 自転車と暮らそう!」というところと、観光面の「基本目標2. 自転車と楽しもう!」

というところに大きく分けた上で、詳細な計画を作っていただきましたけれども、それぞれのご専門の立場から、ご意見・ご質問等をよろしくお願ひしたいと思ひます。いかがでしょうか。

#### 【委員】

3点ほどお話しさせていただきたいと思ひます。

まず1点目は、素案53ページの自転車ネットワーク路線です。県の路線の他に町の路線という話でしたが、町の路線の方に、まだ整備中であり、つながっていない路線があります。その路線について実線で示すことは現状では早計ではないでしょうか。点線の表示も中にはあるので、表示の仕方を整理させていただきたいと思ひます。

2点目は、素案35ページの交通安全教育の推進についてです。今まで実施されてきた事業を今後も伸ばしていきましょうというスタイルになっていると思ひますが、基本目標の中で生活面とスポーツ面と2つに大きく分かれており、そういった中で小中高生向けの施策が基本的にあがっています。しかし、実際まちなかでは、大人の方も利用しているので、年齢層に応じた教育を考えていった方がよいのではないかと思ひます。それから、生活面とスポーツ面は利用にあたってのポイントが違ふと思ひます。そういったところを考慮したらよいと思ひます。

あと、生活面の利用ということで素案42ページにサイクルサポートスポットがあります。生活利用ですと、例えば自宅から役場に行く、コンビニに行くといった使い方になると思ひます。そういった際に、自転車を置くスペースがあるところとないところがあります。少し傾斜があるところでは自転車が停められないので、自動車で行った方がよいかなという選択肢も考えられます。利用する施設における自転車を置くスペースの確保促進を加えるとよいと思ひます。あと、高校生は自転車で通学する人もいますが、昔はバス停まで自転車で行き、バスに乗るといった人が多くいました。バス停等の交通結節点のような場所で、うまく自転車の利用を促進できるところがあれば自転車置き場の確保を考えられるとよいと思ひます。以上です。

#### 【会長】

ありがとうございます。パークアンドライドという言葉がありますけれども、そういったものを促進できればというご意見ですね。事務局から何かあればお願ひします。

#### 【事務局】

ご指摘のあった路線は、整備を進めている大洗友部線のバイパスだと思ひます。この路線につきましては、整備中ですので点線に変更させていただきます。ご指摘ありがとうございます。

交通安全教育の推進ということで、小中学校及び高校生についての内容を素案35ページに載せさせていただいています。学生以外の啓発については、事務局としては②の「多様な角度からの交通安全

運動の推進」ということで、35ページが一番下にありますが、主な措置「各地区等への交通安全の出前講座」ということで、学生向けだけではなく、その地域・世代に応じた交通安全の推進を行っていきたいと検討したところでございます。

もう1点のサイクルサポートスポットの拡充についての内容の中で、箇所の自転車を置くスペースの改善につきましては、担当部署とも検討を進め、改善を行っていただければと思っております。以上になります。

**【会長】**

それでは、交通安全の意見でしたが、副会長はいかがでしょう。

**【副会長】**

交通安全母の会からです。毎年交通安全協会の事業で、小学生・中学生に対して校庭で自転車の乗り方を教えています。小学校1、2年生には道路の歩き方の安全教育を各小学校で年間2回ずつ、交通安全母の会も一緒に開催しています。ただ、小さい子ども達は、歩き方も教えていますが、自転車について説明しても、自動車の仲間であることを理解できない年齢です。いくら教えても、小学生は全員ヘルメットを持っているので大体は被っていますが、たまに被らない子もいます。自転車の走行方向もまだ浸透していないので、好きな方向を走行している子が多く見受けられます。茨城町の場合、中学校・高校は、自転車通学が非常に多いので、小さいうちから自転車に対するルールをしっかりと教えていかないと、事故は減らないと感じています。水戸警察署の方々と一緒に、これからどういう風に子どもたちに交通ルールを浸透させていくかということが事故を起こさないための課題なのかなと話しています。茨城町ははっきり言って、道路があまりよくありません。非常に道路の幅も狭いです。だからピクトグラムを表示するにしても、広いところしか表示できないのではないのでしょうか。実際は通学路になっているところに表示できるのか、疑問があります。また、交通安全母の会で町内を一周していますが、センターラインのない道路がほとんどですので、小さい子どもが自転車に乗る際は、一緒に走らなければまずいのかな、怖いなという感じを非常に受けています。その点について町の方で道路拡張等どう考えているかによって、また変わってくると思っています。

私達の仕事としては、一生懸命子ども達に、自転車に乗るルールや自転車は自動車の仲間だということを小さいうちから伝えることと思います。それから、お母さん達には自転車保険は毎年加入しなければならないことをお話しています。けれど、そういったルールや指導の徹底がまだまだと思っています。以上です。

**【会長】**

ありがとうございました。本町だけではなくて、日本全体として歩車分離や自転車専用はなかなか難

しく、地道に取り組んでいかなければいけないと思います。道路整備については素案の後半部でしっかり触れていただいているということです。今2つ、教育の部分とハードというところでご意見が出ましたが、交通安全のプロから見て、この素案はいかがでしょうか。もう少し踏み込める、他でかなり苦労しているといったことがあればお願いします。

#### 【委員】

矢羽根の表示ですが、場所によっては狭くて難しいところもあると思います。道路の拡張についても一緒に考えていただけたら、安全になってくるのかなと思います。子ども達が本当に安心して走ることができれば、そこを子ども達も通るようになると思います。現状走れないところ、細いところは方向を考えずに走ってしまっていることがあるのかもしれませんが。矢羽根で方向を示すということは無効な手段と考えますが、場所によっては総合的に判断して進めていただければと思います。また、交通安全教育については、地道に展開していくしかないと思いますので、警察も一緒に協力したいと思いますので、地道に進めたいと思います。

#### 【会長】

ルートについては特にないでしょうか。お墨付きをいただいたということですね。

私は自動車が通れないような狭い農村部分をルートに設定したら良いのではと、素人目では思っていますが、その部分はどうしても難しいのかなと思います。

今、教育というご意見が出たので、一点だけお願いがあります。素案への書き込みや事務局からのコメントはいらないのですが、ぜひ、もう一步進んで、自転車を使った茨城町独自の健康プログラムを町民と一緒に開発するような形へも踏み込んでいただけたらと思います。そういった点では、全体として、生活改善という面から、素案についていかがでしょうか。

#### 【委員】

すごい計画ができているなど正直に思っています。

私は自転車に乗って行動する年齢ではなくなっていますが、こういったことを自分達がしっかり知識として入れて、孫達に教えてあげたいなと感じました。矢羽根という言葉が今回初めて知ったものですから、そういった知識が一般人としてはすごく不足していると思いました。

70代が多い団体ですので、団体としては自転車の危険性について、高齢者の教育をしなければと思います。

#### 【委員】

矢羽根は茨城町にないため、高齢になると見ないかもしれない。水戸市に行くと、歩車分離で

矢羽根が通る方向が示されており、それを見ていけば分かるかもしれないが、多分関わっていないと茨城町の人は分からないと思います。そのあたりから啓発をしっかりとやっていかないといけないと思います。矢羽根の意味も分かっていないと思います。

#### 【会長】

子ども達の教育、それから大人達の健康や福祉という点でも、それを広げる立場の人達も、あらためて知識を確認していくということですね。

安全・安心という面で私達が普段体験している以上のスピードを体験しているわけですが、プロから見ると、安心・安全の観点から素案についてどうでしょうか。

#### 【委員】

先ほど会長が農道の方が安全ではないかとおっしゃっていましたが、正直、農道を走って楽しいかと言われると、スピードを出せないのが楽しくないです。自転車ネットワーク路線で赤く塗られたルートは主に県道だと思いますが、自動車と競合することになります、その危険を冒してまでも、早いスピードで走りたいという思いが正直あります。時速15キロほどで走るポタリングも同じ気持ちだと思います。ただ、ポタリングの方は寄り道が多いというだけで、先を急いでいないが、走る場所はほぼ一緒だと思います。町道・県道あたりの赤く示されたルートが最適かと思います。

先ほど少し話に出ていたと思うが健康というところで、自転車を活用していただきたいという話です。素案38ページにある健康講座を開催していただけることになっているが、スポーツタイプの自転車をあらためて買う必要はなくて、家にあるママチャリで健康講座に参加できる形にさせていただいて、幅広い年齢層に参加いただける講座にぜひお願いしたいと思います。同時に、いきなり50代や60代の方がママチャリで走るということは、車と競合する心配もあり、勇気がいることです。あわせて、安全教育が必要になると思います。健康講座の中に、安全に関わる部分が必要ではないでしょうか。多くの方は、自転車は歩道を走るものだと思っていらっしゃると思います。普段ママチャリしか乗らない方は、本来歩道を通行するが、遠慮がちに車道を走るくらいの感覚だと思います。そういった点も含めて、安全教育として啓蒙していただければと思います。ママチャリで時速10キロくらい走れる生活習慣を身に付けていただいて、物足りなくなってスポーツタイプの自転車に乗るという方々を増やしていただければと思います。スポーツタイプの自転車を買うことはハードルが高く、20万円前後するため、一度買ったらやめられないと思います。

この前もお話ししましたが、ナビマークは非常に有効だと思います。特に幅員の狭い道ほど、有用だと思います。自動車はナビマークがあると、表示を踏まないように走ってくれるため、歩道のない場所でも歩行者が安全に歩くためにも有効かと思います。幅員が広げられない中では、ぜひナビマークを普及してほしいと思います。車道を走っていて、我々は自動車にあまり近寄らないでほしいというオーラ

を出して走っています。ナビマークがあると、精神的なストレスが少なくなるので、ナビマークの設置は非常にありがたく思っています。

水戸市に住んでおり、市内はかなりナビマークが普及しているが、相変わらず逆走している人やイヤホンをして走る人が多くいます。自分が走っているときに出会ったら、嫌がる人もいますが途中で止めて注意するようにしています。ヘッドホンをしている人もいて、注意を聞こうともしない人もいます。しかし、注意しなければせっかくナビマークを付けてもらっても、世の中変わりませんので、注意しています。本来は一般市民が注意することは危険で良くないと思いますが、逆走されるのは気になります。警察のお仕事になると思いますが、取り締まりもどうかというところもあり、本来は地域の方々に指導することと思っているところです。取り留めもなくなってしまうかもしれませんが、以上です。

#### 【会長】

私もハッとするようなご意見いただきました。スピードを徐々にあげて走ることも教育の中で伝えていけるということを、初めて聞いて、なるほどと思いました。その他いかがでしょうか。

#### 【委員】

目標3について、プロや趣味として自転車に乗る方には非常に良い物なのかなと思いますが、生活という面で考えるとどうなのかなと思うところがあります。

先程「自転車は歩道を走るものと思っている」とおっしゃっていただきましたが、私は小学校の時にそのように教わりました。そんな中で、仕事を始め、大きい配達車といった生活以外でも自動車を使うことが多くなり、高齢の方や少しふらふらと自転車に乗っている人を見ると、思わず「歩道を走れ」という言葉が出てしまいます。役場周辺ですと、大黒家近くの橋には歩道用の橋もあり、そこを自転車で車道を通行されると、抜くにも抜かず疑問を感じていました。その中で、「自転車保険入っていますか？」のリーフレットを見ると、歩道を走って良い場合もあることが書いてあります。素案を見ると自転車は歩道を走ってはいけないと読めてしまうが、歩道を走っても良い場合があることをきちんと伝えてほしいと思います。今自転車で通学する息子に、「車道だけを走ってきなさい」とは正直、現状では難しく言えません。自分が自動車を運転していてもどうなるか分からないところもあります。ましてや茨城町の道は悪いという話もありましたけれども、駒場や谷田部近辺では車道が狭いけれども、大洗や鉾田郊外につながる道で、トラックなども多く走っています。自分で自動車に乗っていても対向車を恐れるというレベルのスピードでトラックが走っています。そのような道を普段通学で自転車を使っているところを考えると、まず生活ということを考えると、矢羽根を付けたところで変わるのか、と感じてしまいます。トラックが悪いわけではありませんが、スピードを緩めるのか疑問があります。矢羽根は両サイドに設置できるのでしょうか。

**【事務局】**

矢羽根は両サイドに設置できます。

**【委員】**

乗用車同士で安心してすれ違い出来るところにトラックが来るという道路に、両サイド矢羽根を付けられると自動車でも安全に走ることができるのでしょうか。生活というところで素案としてはどうなのか、と正直感じています。子どもを持つ親であるとか、地元で配達があるとか、高齢者を送迎しているとか、仕事で自動車を使うという場合に、私達も仕事として配送の時間を考慮するとなると、生活で自転車を使うことは大切ですが、ウィンウィンの関係になることは難しいと思いますが、ウィンウィンな関係をつくれるようにもう少し考えていただければと思います。

**【会長】**

ずっと日本が抱えてきた大きな問題であって、急に明日あるいはこの計画の10年後に解決することは難しいかもしれませんが、素案後半でかなり踏み込んでくださったので、できる限りソフトとハード両輪で、現在矛盾をはらんでいる部分に、茨城町で率先して取り組んでいただきたいと思います。

それでは、観光について素案について付け加えるご意見等ありますでしょうか。

**【委員】**

かなり計画を作りこんでいただいているので、あまり提案することはないですが、モデルコースを2、3個作っていただいて、歴史探索や観光コースとして所要時間をつくるといったことを加えてほしいと思います。

あとひとつ、工事が進んでいる道路について進捗状況と年次計画を教えてください。よろしくお願いいたします。

**【会長】**

大変貴重なご意見で、例えば観光でいえば、季節性を感じられることが自転車の良いところだと思います。私達は自動車を中心になって考えなくなってきましたが、雨の日とどう楽しく付き合っていくのか、そういった部分も自転車にはあると思います。ですので、そういったところは観光の部署と話していただきたいと思います。

事業の中心的な役割を持つ、県の方はご意見いかがでしょうか。

**【委員】**

思うところを少し述べさせていただきたいと思います。県の方で自転車ネットワークを整備してい

ますが、茨城町を通過するラインとしては、茨城空港から大洗に向かう県のネットワーク、それから水戸駅へ向かうネットワークとして大きく関連しています。来年度中には整備が完了する予定で進めておりますが、本町の計画で活かす取組みとして、例えば小美玉市や水戸市、笠間市の方では繋いでいると思いますが、大洗町や銚田市といった涸沼の南側も観光に関わる重要な部分かと思えます。それについては、計画の見直しや事業の進捗に合わせて、順次やっていくのが良いと思います。

素案39ページの分かりやすい案内看板の整備ということで42箇所案内するという事で、実は県の方でもこういった看板で案内していますが、整備がある程度進んできていることで見えてきた、少し課題になっている点がありますので、ご紹介しておきます。案内看板は非常に分かりやすいですが、途中で気づく人が多く、どこを案内しているルートか分からないというご意見が出てきています。サイクルサポートスポットといったところで、全体の自転車ネットワークの案内を整備していただくと、サイクリストに対して分かりやすいと思いますので、参考にしていただきたいと思います。

余計な話かもしれませんが、ご意見ありました、リーフレットの方にもありますように、自転車が歩道を走っても良いかというところで、ぜひ教育の中で伝えていただければと思いますが、道路交通法17条において自転車は車道の左側を走ることが原則となっていますが、自転車が歩道を走ってよいという例外規定があります。まさにこのリーフレットに書いてあるような工事中あるいは、交通量が多くて危険な場合、それから12歳以下と高齢者は歩道を走行していいという規定になっていますので、ぜひ家庭教育の中で周知していただければと思います。以上になります。

## 【会長】

ありがとうございました。かなり具体的なお提案ということで、事務局の方ではそういった点も検討いただければと思います。

少し未来の布石をさせていただきますが、生活面ということであれば、ここにいる方々は薄々気付いているかもしれませんが、いわゆる旧来型の私達が持っている自動車運転免許証というものが証ではなくなる時代が来そうです。自動運転などが進んでいった時に、私達が持っている旧来型の免許証が成長あるいは大人である証ではなくなる可能性があります。それから、価値観が多様化している中で、マイカーを持つことがステイタスではなくなってくることもあり得ます。そうすると、確実に社会的な生活面でいうヒエラルキーが崩れていくわけです。確実に自動車を運転出来て、大きな自動車を持っているということが崩れていく、もしかしたら崩れ始めています。これがすごく良いことであって、これからは多様性とか、環境とかエコとかいうこと、あるいは楽しみ、安全・安心が新たなヒエラルキーをつくる際のキーになっていくわけですから、副町長にはぜひこういったまちづくりを見据えてこの事業を受けていただきたいです。黒塗りのセダンが我がもの顔で走っていたら、このような事業を一生懸命進めていても、あまり意味がなくなってしまう。ぜひとも町長や議員委員から積極的に自転車をPRしていただきたいと思います。

観光面でいえば、外から来た人がせっかくラムサール条約登録湿地の潤沼に来て、周りを暴走族のようなものが走っている、あるいは大きな自動車が非常なスピードで走っているとなると、やっぱり茨城だ、茨城町だと思われてしまいます。そうではなく、子ども達を主役にして、今日お会いできなかったことが残念ですが、篠原委員みたいな方が町の中心になっていって、その人達が色々な物を発信して行って、茨城町は自転車のマナーが良いではないかということになれば、東京コンプレックスというようなものはなくなっていくわけですし、観光に来たいと思うわけです。まさにおもてなしやホスピタリティになってきます。ぜひただの事業ではなく、町の価値観を大きく変えていくきっかけにしていればと思っています。

#### 【委員】

皆さん、今日は貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。このような委員会を実施しても意外と意見が出にくいですが、本協議会では町にとっても厳しいご意見をいただきましたし、会長から町としての姿勢についてのご意見をいただきました。

すぐにできる点とどうしても時間がかかってしまう部分がありますが、優先順位を考えながら町民の皆さんに自転車が親しみやすい環境をつくっていきたいと考えています。町長も自転車施策についてはとても力が入っていますので、出来る限り早く、形が見えるように町としても取り組んでいきたいと思えます。

#### 【会長】

それでは全体としていかがでしょう。何か付け加えておきたい、あるいはこれを盛り込みたいということがあれば受け付けたいと思えます。大丈夫でしょうか。皆さんからのご意見伺って、よくまとめてくださった、新しい計画だという評価をいただいたと判断していますので、それではこれでよろしいでしょうか。これから若干修正、加筆があると思えますが、ここでの議論は終わりにさせていただきたいと思えます。

#### 【委員】

ルートを見直していて、小美玉に抜けるルートは国道6号ですか。矢羽根の設置だけということであれば危険だと思いますので、変更できるならば変更してほしいと思えます。

#### 【事務局】

国道6号は一部区間になります。

#### 【会長】

それでは、事務局の方からその他について、ございますでしょうか。

## 4 その他

### 【事務局】

小原会長、円滑な議事進行をありがとうございました。それでは会議次第「4 その他」でございますが、事務局から今後の日程についてご提案させていただきます。

本日ご協議いただきました素案につきまして、4月下旬までパブリックコメントを実施いたします。このパブリックコメントが終了次第、次回の開催についてご通知させていただきたいと思っております。小原会長いかがでしょうか。

### 【会長】

ただいま事務局から、パブリックコメントの後に、第3回の協議会を開催する旨の提案がございました。このパブリックコメントの内容によりますが、文言修正など軽微な修正であれば協議会を開催せず、本計画の策定とさせていただき、施策の追加等の大幅な変更が想定される場合は協議会を開催させていただくということで、次回の開催するかどうかについては私の一任とさせていただきたいのですが、皆様いかがでしょうか。

### 【承認の拍手あり】

それではお預かりします。パブリックコメントの結果を受けて、協議会を開催するかどうか、事務局と私の方で検討させていただければと思います。

ご協力どうもありがとうございました。事務局にお返ししたいと思います。

## 5 閉会

### 【事務局】

それでは閉会前に、これまで2回にわたり、ご協力いただきましたお礼の気持ちを込めまして、私から一言申し上げます。委員の皆様には今年度2回にわたりましてご協議いただき、大変ありがとうございました。本計画は自転車に関する当町のガイドラインになります。今後、本計画に基づきまして、地域の人・地域に来た人が自転車に乗りたい・楽しいと思える事業を実施してまいります。

自転車は二酸化炭素を排出しないクリーンな乗り物であります。自然環境豊かな茨城町にとってはふさわしい乗り物だと思っています。自然環境の豊かさでいいますと、茨城町にはラムサール条約登録湿地、潤沼があります。この潤沼につきまして今後の展望としましては、令和5年度に水鳥自然館とい

うものが国内12番目に整備されます。また、涸沼近くの学校跡地ですけれども、観光の拠点にできたらと構想しております。そういったことから涸沼並びに涸沼近くにおける茨城町らしいサイクルツーリズムが展開できたらと思っております。そういった意味で、本計画も発展させていきたいと思っております。

以上を持ちまして、第2回の茨城町自転車活用推進協議会を閉会したいと思います。大変お世話になりました。お疲れ様でした。